

**強風で列車が速度を
落としたり止まるのはなぜですか？**



**強い風をうけると列車の運行に
危険が及ぶ可能性があるためです。
一部の路線は海や山沿い、橋の上など風の
影響を受けやすい箇所を走行しています。
過去の災害の経験をもとに、風速が一定の
基準を超えると運転を見合わせています。**



—— 運転再開までの流れ ——

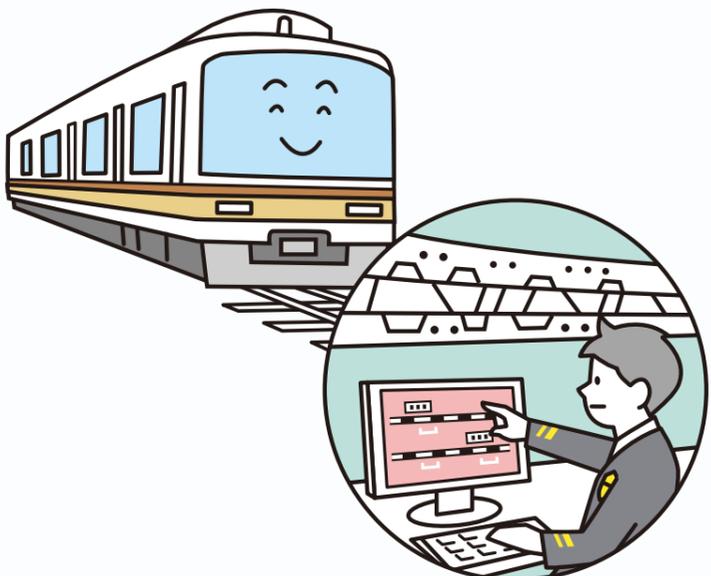
風速が規制値を下回ると…



架線や線路の点検を開始します。



架線に付着した飛来物や倒木を取り除きます。



点検後、異常がなければ運転再開します。

Q. なぜ、風が止んでいるのに
運転見合わせを続けるのですか？

A. 風が小康状態となった後も突風などの
可能性があるため、一定時間運転見合
わせを継続する場合があります。安全のために、
必要な点検を行った後、運転を再開しています。

暴風への対策

● 防風柵

強風での運転見合わせなどを減らしていく
ため、平成20年から特に風の影響を受けや
すい湖西線・北陸線で防風柵の整備を進めて
います。防風柵を整備した規制区間での運転
見合わせ時間は、おおむね3分の1以下になる
見込みです。

※防風柵を設置することにより、風に対する規制値が緩和されます。
(運転を見合わせる規制値が25m/sから30m/sとなります。)



湖西線の防風柵